

第 62 期

平成 26 年度 事業報告書・決算報告書

平成 26 年 4 月 1 日から
平成 27 年 3 月 31 日まで

福島県郡山市駅前一丁目 8 番 16 号
公益財団法人 湯 浅 報 恩 会

第 62 期（平成 26 年度）事業報告書

1. 事業概況

わが国の景気は、発足後 5 年目に入った安倍内閣の経済政策「アベノミクス」による大胆な金融緩和と円安効果、さらには復旧・復興工事と東京オリンピックの特需等もあり、デフレから脱却しつつあると言われている。しかし、日経平均株価が十数年ぶりの高水準を回復し、企業の経常利益は過去最高水準、平均月額給与も過去 15 年で最高水準などと言うものの、地方の中小企業がその恩恵に浴するまでは至っておらず、それらは異国のバブルのようにも感じられる。

国際情勢では、デフォルト寸前のギリシャをはじめ経済低迷が続く EU 情勢やウクライナ紛争、イスラム国（ISIL）の問題等、国際規模での紛争や金融波乱が懸念される状況が続いている。このような情勢下、安倍内閣は集団的自衛権の行使を前提に日米同盟強化を強力に推し進めようとしているが、これに対しては中国と韓国が反日を軸に不快感を示しており、わが国を巡る情勢も緊張の度合いが増している。

東日本大震災からは丸 4 年を経過したが、福島県では今なお約 12 万人が避難生活を送っており、うち 4 万 7 千人が県外で暮らしている。福島第一原子力発電所では高濃度汚染水の漏出や作業員の死亡事故など不祥事が相次ぎ、廃炉への道筋は暗中模索、除染は進んでも、分断されたコミュニティとインフラの欠如という現実が避難者の帰還意欲を削いでいる。景気の回復とは裏腹に、依然として福島の復興は遥かに遠い。

医療を取り巻く環境は、昨年 4 月の診療報酬改定が 7 対 1 入院基本料要件の厳格化等かつてないインパクトを有する改定であったことに加え、同じく 4 月に実施された消費税引き上げによるダメージも、予想以上に大きなものとなった。国が、2025 年の医療需要推計に基づき、「地域医療構想」の名の下、病床規制を粛々と進めていくことは既定方針であり、2016 年 4 月に実施される診療報酬改定も厳しい内容となることが予想される。当法人も、いかに自らのポジショニングを確立し「地域包括ケア」の一翼を担っていくか、経営戦略の再構築を迫られている。

このような事業環境の下、平成 26 年度の法人全体の医業収入は約 98 億円

となり、消費税引き上げにより控除対象外消費税の支払い負担が約 87 百万円増加したものの、最終利益は約 1.5 億円、償却前利益は約 9.6 億円となった。

2. 部門別事業報告

1) 法人本部

経済情勢の変化等により一時休止中となっている第二地区市街地再開発事業については、昨年 6 月に到来した事業期限の延長に関して行政当局との協議を行った結果、期限経過後も事業自体は継続されることが確認された。

人事面では、採用時の競争力確保の観点から、賞与の一部を月額給与へ振り替える支給方法の変更を検討、全職員説明会を開催し労働組合の同意も得て 27 年度から実施している。医師の年俸制についても、従来以上に病院業績と診療科実績等を反映できる内容への変更を検討し、27 年度から実施している。また、医師確保の観点から、医師の定年延長に向けた準備を進めており、27 年度から実施予定である。

設備投資に関しては、平成 27 年 5 月に着工する香久山病院の病棟新築及び改修等工事、並びに総合病院で 27 年 9 月からの稼働を予定している電子カルテの導入に向けて、資金面での準備を進めてきた。

財務・経理面では、公益法人としての厳格かつ透明性を確保した法定監査に対応し、諸規程の改定、法改正に伴う退職給付会計の経理処理への対応を行った。

2) 寿泉堂総合病院

本年度は、2025 年をゴールとする医療制度改革に向け、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等を重点課題とし、さらに消費税引き上げへの対応も織り込んだとする診療報酬改定が行われた年であった。当院としても改定項目、示された方向性に沿って可能な対応を進めたが、収益的には消費税引き上げが大きく影響し、償却前利益額は前年度を 11 百万円下回る 581 百万円に止まった。

入院患者数は、平均在院日数が 0.2 日短縮（11.4 日→11.2 日：延べ患者数約 1,600 名減少に相当）したが、リウマチ膠原病内科の再開、脳卒中科の診

療開始、産婦人科の増員等があり、新入院患者数が157名増加し、延べ数で746名・0.9%増加した。

外来患者数は、国の求める急性期病院としての外来診療の充実、医師の負担軽減の方針に沿って引き続き逆紹介を推進した結果、前年度比で総数は4,066名、2.6%減少した。しかしながら、初診患者を217名多く受け入れ、紹介患者1,119名・15.3%の増加と相俟って紹介率が68.0%となり、厳しくなった「地域医療支援病院」の新基準65%を満たすことができた。病診連携強化への取り組みが実績に繋がってきているものと思われる。

救急搬送受け入れ件数は前年度比19件の増加で2,444件と横這いであったが、救急搬送からの入院率は前年度を1.7%上回る38.6%に上昇した。

診療単価は、手術件数の増加、短期滞在対象疾患拡充への対応等による平均在院日数の短縮、外来診療の充実等により、入院部門で前年度比2.0%、外来部門では10.2%の大幅アップとなった。

以上の結果、入院および外来収入はそれぞれ2.3%、7.2%増加し、医業収入合計では前年度比3.5%・230百万円上回ることもできた。医業費用は、人件費、材料費、消費税負担額等の増加と減価償却費の減少を主なものとして147百万円増加し、一般正味財産増減額で93百万円の赤字を計上し、償却前利益額は581百万円と前年を11百万円下回った。利益が圧縮された最大の要因は、消費税負担額が76百万円増加したことである。法人の財務状況も考慮し、下期の賞与を例年より0.1ヶ月分少ない支給としたことは残念であった。

今年度取り組んだ経営基盤の強化・安定に関連する取り組みとして、紹介率アップに寄与する地域連携強化、外部コンサルによる経営分析トレーニングの実施、病床管理室を中心とする病棟再編に関する諸検討、ベンチマークに基づく医療材料の費用削減等が挙げられる。新たな取り組みとして、病院経営の質を継続的に改善していくため、JHQC（Japan Healthcare Quality Club）によるクオリティクラスの審査申請を行ったことも特筆すべきことで、27年8月にプロフィール認証が得られる見通しである。

医師、看護師をはじめとする人材の確保にも継続的に努めた。最優先とする麻酔科の常勤医師増員については、絶対的医師数の不足があり今年度もかなわなかったが、4月にリウマチ膠原病内科、5月に臨床検査科、9月に神経内科に新任医師の着任があり、初期臨床研修医も昨年より2名多い4名を採

用することができた。一方、年度途中で脳神経外科、形成外科で医師の減員があったため、引き続き充実に努めていきたい。やや懸念されていた一部医療技術スタッフの離職率にも改善が見られてきており、さらに、看護部が取り組んでいる「ワークライフバランス推進ワークショップ事業」への参加は、病棟二交代制の導入とあわせて働く環境の向上に貢献するとともに、職員の満足度・定着の向上につながるものとして、期待、注目している。

医療安全面においては、医療安全管理委員会、関連会議、毎週のカンファレンス、研修会、研究会の開催を継続し、医療の質の担保、迅速な事故対応、再発防止の徹底を図った。また、職員の質の向上策の一環として患者さんからの「苦情ゼロ」運動にも継続して取り組み、意識の高まりが見られている。

3) 寿泉堂香久山病院

2014年度の診療報酬改定は、医療機関の機能分化を重点課題に掲げ、特に一般病棟7:1の絞り込みと地域包括ケア病棟の新設に注目が集まった。慢性期入院医療においては、新たに在宅復帰機能強化加算が設けられ、DPC対象病院のみであったデータ提出加算も対象とされるなど、ストラクチャー評価からアウトカム評価を重視する経営感覚への刷新を迫られる改定であった。

当院では、急性期医療からの受け皿としての機能を高めるには上記両加算の届出が必須であるとして、改定内容が明らかになった時点から基準のクリアと要件整備に努め、在宅復帰機能強化加算は4月、データ提出加算は翌年1月に算定を開始した。ちなみに、平成27年3月時点において在宅復帰機能強化加算の届出を行っている医療機関は、県中地区二次医療圏においては当院のみである。これら新たな加算の算定とリハビリテーション実施数の増加、さらには重症者の積極的受け入れ等により診療単価は予算値を上回った。一般病棟に在宅復帰率75%の要件が課せられたことから在宅復帰機能強化加算の届出は紹介数の増加に繋がると見込んだが、当地域においてはそうした流れに至らず、寿泉堂総合病院を含め急性期病院からの紹介数は逆に減少した。施設基準の維持並びに算定要件を満たすための止むを得ない受け入れ制限や市内での高齢者施設の増加による転院、さらに年度後半から常勤医1名が休職したこと等が相俟って入院患者数は予算を大きく下回り、医業収入も減収となった。消費税増税の影響は大きかったものの費用の圧縮に努めるこ

とで収入減を補い、予算額には及ばないまでも相応の当期経常利益を確保した。

ICT（情報通信技術）の整備に向けた取り組みでは、栄養管理システムの更新とリハビリテーションシステムのバージョンアップを実施し、昨年度から本稼働したオーダーリングシステムと連携させ、業務の効率化を図った。また、医療安全対策の強化を目的に導入したバーコードによる3点チェックシステムについても、運用の見直しにより精度を向上させた。

平成14年に認証を受けて以来4回目となるISO14001（環境保全に関する国際標準規格）の更新審査においては、不適合等の指摘はなく日常の改善活動が評価され引き続き認定された。

先の大震災では、建築から40年以上が経つ第1期及び第2期増築棟の建て替えを余儀なくされたが、一刻も早い計画の実現を目指し、プロジェクトチームを中心に設計・施工先である清水建設株式会社の関係部門と精力的に協議を重ねてきた。その結果26年度は、計画概要と病棟配置、構造設備等を取りまとめ、基本設計を経て既存施設の再構成を含めた実施設計までを完了した。そして、具体的工事手順の確定と行政並びに近隣住民への説明も終え、27年5月、いよいよ約2年に及ぶ工事が開始された。本計画を単なる病棟の建て替え工事に止めず、福島県が進める2025年に向けての地域医療ビジョンと新たな医療提供体制に適応した組織へと生まれ変わる契機としたい。

4) 寿泉堂クリニック

（健診センター）

予防医療の推進を目指すうえで診療機能の充実を図ることが最も重要であるが、今期は、前期の医師退職の影響を最小限に止めるべく、業務効率化とあわせて医師一人当たりの業務量増加、臨時医師の確保に一丸となって取り組み、企業を中心とした健診事業のニーズ拡大に対応し受診者を受け入れた。

その結果、平成26年度の健診事業利用者数は、1日人間ドックが若干の増加、企業関係の事業所健診は3.1%増加し、全体では15,361名・対前年比1.2%の増加となった。

平成26年度より消費税が3%増税されたため診療単価が若干増額したが、消費税分を差し引いた実質診療単価は21,176円となり、対前年比583円・

2.7%の減少であった。要因として医師が担当する上部消化管内視鏡の実施件数減少などが挙げられる。健診部門収入総額は332百万円で、前年比約3百万円、0.9%の減収となった。

今後とも引き続き地域住民の疾病予防と早期発見に努め、受診者の生活改善を支援するため全力を尽くす。

(透析センター)

昨年に引き続き、透析液品質管理者が中心となり「超純水透析液」を提供するとともに、最新の透析監視装置（オンラインHDF用）を新たに3台増設し、これまで設置した分と合わせ22台の装置で血液浄化療法を実施している。これにより患者さんの合併症発生予防と増収に繋げることができた。

透析患者数は年間延べ21,541名となり、対前年比127名増加した。特に日中仕事を持ちながら透析療法が必要な患者さんのために実施する「夜間透析」は、対前年比261名・5.4%増加し、患者さんの治療と就労の両立、生活の質と満足度の向上に貢献することができたと思われる。

平成26年4月に実施された診療報酬改定は、名目0.1%のプラス改定と発表されたが、消費税の3%増税もあり実質1.26%のマイナス改定となった。そのような中、透析部門の平成26年度収入額は652百万円、対前年比約1.5百万円・0.2%の減収となった。透析診療単価は30,118円で、対前年比150円・0.5%ダウンした。

以上により、寿泉堂クリニック全体の医業収入額は984百万円余り、対前年比4.6百万円・約0.5%減収となったのをはじめ、災害復興補助金の減少などもあり、総収入額は対前年比10百万円ほどの減収となった。しかしながら、材料費の削減や設備投資の圧縮など約10百万円の費用圧縮に努めた結果、償却前利益は289百万円余り、対前年比6.8百万円・2.3%の減少に止まった。今期の対医業収入利益率は29.3%に達し、前年度に引き続き法人全体の収益確保に貢献することができた。

クリニックでは、今後も寿泉堂グループとの連携をさらに強固にするとともに、県内透析医療機関とも連携を保ちながら、医療安全を第一に質の高い医療を提供し、地域医療に貢献していく。

5) いずみ訪問看護ステーション

いずみ訪問看護ステーションの平成26年度の訪問看護延件数は3,132件で、対前年比620件増加した。内訳は介護保険訪問看護件数2,445件（対前年比516件）、医療保険訪問看護件数687件（対前年比160件）、利用件数は昨年度より連続して増加傾向にある。医療保険訪問看護においては、退院時支援に関する加算や特別管理加算の算定が多く、収益増へと繋がった。

医療依存度の高い利用者の受け入れに伴い、24時間対応の頻度が増加し、また、退院前より在宅へ向けてケアマネージャーとの関わりがない利用者もいることから、申請等支援開始時の調整が間に合わない状況が多発している。これにより、訪問看護ステーションの業務が煩雑になるため、事業所内の連絡会議等、職場内環境の改善に努力した。

6) 寿泉堂香久山居宅介護支援事業所

寿泉堂香久山居宅介護支援事業所は、ケアプラン件数1,865件で、対前年比33件増加した。前年度の感染症発症や長期入院が少なかったことが要因である。

平成27年度の介護報酬改定は居宅介護支援事業書にとっても厳しい内容となっており、特定事業所集中減算へ対処するため、ケアプランの適正点検と自主的研修参加によって自己啓発に努めた。

11月には介護保険実地指導を受け、適正な管理が行われているとの評価を得ることができた。

7) 郡山南部地域包括支援センター

郡山南部地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの構築を目指し、介護や医療、その他の地域組織との連携を図りながら地域活動に力を注いだ。

介護予防教室は各地域で複数回開催し、年間11回開催した。また、地域の小学生、高校生らを対象に高齢者疑似体験教室を開催し、参加者から「貴重な体験ができた」と好評を得ることができた。

認知症サポーター養成講座は、地域住民のほか、あさかの大学や郡山ヘアメイクカレッジ、スプリングガーデンあさかを含む寿泉堂グループの在宅支援部門でも開催し、年間4回、合計184名のサポーターを養成した。さらに、

地域の医師や介護保険事業者と一緒に多職種による地域ケア会議も開催した。

今年度の相談件数は 5,045 件で、対前年比 34 件の微増となった。実態把握の件数は 448 件中 213 件で、基本チェックリスト回収率は 47.5%。前年度は 156 件で回収率 37.0%であったため、今年度は実態把握に努めた。

二次予防事業についても前年度は 86 件中 11 名の参加に対し、今年度は 122 件中 24 名の参加があった。予防給付件数は、ここ数年はほぼ横這いに推移していたが、前年度の 2,261 件に対し今年度は 2,519 件と、258 件増加した。

担当地区の高齢率も年々高くなり、高齢者人口は 5,731 人で前年同月より 301 人増加している。

3. 収 支 報 告

平成 26 年度決算の医業収入総額は対前年度比 101.9%、186 百万円増収の 9,760 百万円となり、医業費用については、対前年度比 101.6%、147 百万円増の 9,620 百万円となった。前年度に引き続き震災復興関係を中心に、約 7 千万円の補助金収入があったため、経常外増減額を合わせた一般正味財産増減額は前期比 22 百万円増益の 155 百万円となり、昨年度に続き黒字を確保することができた。また、償却前一般正味財産増減額については、減価償却費の減少により対前年度 50 百万円の減益となったものの、965 百万円を確保することができた。消費税増税の影響は、対前年度約 90 百万円の大きな負担増として収益を圧縮する要因となったが、それを上回る医業収入増により、一般正味財産増減額では増収増益決算となった。

資金収支についても、26 年度予算編成時に予定していたオーダリングシステムのサーバー更新を実施しなかったこと、また、医療機器投資の一部にリースを活用したことにより 90 百万円の黒字となった。

4. 会 議 報 告

本年度の理事会・評議員会等の開催状況は、次の通りである。

1) 理 事 会

○ 定 時

① 開催日 平成 26 年 6 月 13 日(金)

② 議決事項

- 第1号議案 平成25年度事業報告・決算報告について
- 第2号議案 会計監査人の報酬について
- 第3号議案 定時評議員会の招集について

③ 報告事項

- 寿泉堂香久山病院整備計画について
- 郡山駅前一丁目第二地区市街地再開発事業の動向について
- 関連施設の現況報告について

○ 臨時

① 開催日 平成26年12月15日(月)

② 議決事項

- 第1号議案 寿泉堂香久山病院旧病棟建替計画について
- 第2号議案 寿泉堂香久山病院職員用駐車場敷地購入について

③ 報告事項

- 平成26年度半期仮決算について

○ 定時

① 開催日 平成27年3月25日(水)

② 議決事項

- 第1号議案 平成27年度事業計画・収支予算案について
- 第2号議案 平成27年度借入限度額設定について
- 第3号議案 諸規則の改定について

① 役員、評議員及び特別管理職の任期等に関する規則

② 常勤役員及び特別管理職退任慰労金支給内規

③ 経営会議規則

③ 報告事項

- 平成26年度決算見通しについて
- 寿泉堂香久山病院整備計画について

2) 評議員会

○ 定時

① 開催日 平成 26 年 6 月 26 日(木)

② 議決事項

- ・ 第 1 号議案 ①平成 25 年度事業報告・決算報告について
②監査報告について

③報告事項

- ・ 寿泉堂香久山病院整備計画について
- ・ 郡山駅前一丁目第二地区市街地再開発事業の動向について
- ・ 関連施設の現況報告について

3) 業務監査・会計監査に関する会議

① 平成 25 年度第 61 期会計監査人監査報告

開催日 平成 26 年 6 月 10 日

内容 決算報告書に関する監査

② 平成 25 年度第 61 期監事監査

開催日 平成 26 年 6 月 10 日

内容 業務監査、会計監査など

③ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 26 年 7 月 14 日

内容 監査法人による監査計画作成についての事前ヒアリング

④ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 26 年 10 月 29 日

内容 監査法人による監査計画についての説明

⑤ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 27 年 3 月 17 日

内容 監査法人による決算に向けての検討事項の把握

4) その他、常勤理事による財団運営会議を毎月第 1 週に開催。

5. 診療報告

○ 平成 26 年度の患者数等は、次の通りである。

患者数

	寿泉堂総合病院		寿泉堂香久山病院		寿泉堂クリニック		合 計	
	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)
外来患者総数	151,526	97.4%	15,568	93.0%	22,061	99.6%	189,155	97.3%
一日平均	513.6	97.4%	52.8	93.1%	70.6	99.6%	637.0	97.3%
新患者数	16,514	101.3%	550	123.9%	304	68.6%	17,368	101.1%
入院患者総数	84,977	100.9%	75,425	94.4%			160,402	97.7%
一日平均	232.8	100.9%	206.6	94.3%			439.4	97.7%
新入院患者数	6,968	102.3%	437	109.8%			7,405	102.7%
退院患者数	6,975	102.9%	430	107.0%			7,405	103.1%
病 床 数	305	100.0%	250	100.0%			555	100.0%

救急患者数及び救急車による受入件数

	平成 26 年度	平成 25 年度	増減	前年度比
入院	1,344 名	1,395 名	△51 名	96.3%
外来	7,078 名	7,301 名	△223 名	96.9%
救急車搬送件数	2,444 件	2,425 件	19 件	100.8%

人間ドック及び各種健診受診者数

健診内容	平成 26 年度	平成 25 年度	前年度比
日本病院会指定による二日人間ドック	93 名	165 名	56.4%
日本病院会及び全日本病院協会指定による一日人間ドック	3,692 名	3,687 名	100.1%
全国健康保険協会による生活習慣病予防健診	2,494 名	1,985 名	125.6%
一般事業所健診	6,256 名	6,490 名	96.4%
郡山市住民健診	1,817 名	1,901 名	95.6%
個人健診	385 名	398 名	96.7%
計	14,737 名	14,626 名	100.8%

※再掲

特定保健指導	18 名	25 名	72.0%
栄養指導	93 名	165 名	56.4%

いずみ訪問看護ステーション

	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比
利用者延人数	531 名	514 名	103.3%
訪問延回数	3,025 回	2,512 回	120.4%
新規利用者数	37 名	52 名	71.2%

寿泉堂香久山居宅介護支援事業所

	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比
ケアプラン作成件数	1,865 件	1,832 件	101.8%
認定調査件数	165 件	153 件	107.8%

郡山南部指定介護予防支援事業所

	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比
介護予防プラン作成件数	2,518 件	2,261 件	111.4%

○本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、以下の通りである。

(法人事務局)

人事システム

電話設備

(寿泉堂総合病院)

内視鏡ファイリングシステム

生体情報モニター 3 台

全自動錠剤分包機

全自動散薬分包機

内視鏡用超音波観測装置

電動油圧手術台

システム生物顕微鏡

全自動化学発光免疫測定装置

VISERA 耳鼻咽喉ビデオスコープ

ポータブル無散瞳デジタル眼底カメラ

カセット式卓上型高圧蒸気滅菌装置

膀胱腎盂ビデオスコープ

個人用透析装置

泌尿器科検診台

新生児・小児用人工呼吸器

超音波診断装置 3 台

ハイライン HS パワードリルシステム

モジュラーハンドピース 2 台

経皮血液ガスモニタ

開放型保育器

WEERDA 拡張式手術用顕微鏡

分娩監視装置 2 台

分娩台

ディスカッション顕微鏡

オージオメータ

耳鼻咽喉科治療椅子

HD3ccd 高解像カメラヘッド

VISERA ELITE ラパロシステム

(寿泉堂香久山病院)

医用テレメータ

スーパーラダリーバス

栄養管理システム	ハイローストレッチャー 2台
(寿泉堂クリニック)	
上部消化管汎用ビデオスコープ	多用途透析装置オンラインHDF対応 3台
超音波診断装置	電話設備
(いずみ訪問看護ステーション)	
訪問用軽自動車 2台	
(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)	
訪問用軽自動車 1台	
(郡山南部地域包括支援センター)	
訪問用軽自動車 1台	

6. 医師人事報告

○平成26年度の医師の異動は、次の通りである。

(1) 着任

平成26年	4月1日	リウマチ膠原病内科	遠藤平仁
	4月1日	整形外科	荒文博
	4月1日	整形外科	佐藤亮平
	4月1日	病理診断科	日下部崇
	4月1日	外科	氏家大輔
	4月1日	耳鼻咽喉科	湯田孝之
	4月1日	研修医	五十嵐彩華
	4月1日	研修医	谷茉莉奈
	4月1日	研修医	加瀬晃志
	4月1日	歯科研修医	本田健太郎
	5月1日	脳神経外科	古川佑哉
	5月1日	臨床検査科	平岩幸一
	8月1日	形成外科	古川杏奈
	9月1日	脳卒中科	芝崎謙作
	10月1日	小児科	藁谷朋子
	10月1日	産婦人科	菅野潔
平成27年	2月9日	形成外科	中尾阿沙子

(2) 退職

平成26年	4月30日	クリニック	柳沼康之
	4月30日	脳神経外科	村上友太
	6月30日	形成外科	阪野一世
	9月30日	小児科	柏原祥曜
	10月31日	脳神経外科	古川佑哉
	11月30日	形成外科	古川杏奈

平成27年	3月31日	小児科	佐藤知子
	3月31日	循環器内科	出町 順
	3月31日	形成外科	木村眞之介
	3月31日	形成外科	中尾阿沙子
	3月31日	整形外科	佐藤亮平
	3月31日	泌尿器科	中島 拓
	3月31日	眼科	笠井 暁仁
	3月31日	外科	氏家大輔
	3月31日	耳鼻咽喉科	湯田孝之
	3月31日	歯科口腔外科	玉木 究
	3月31日	研修医	高田めぐみ
	3月31日	研修医	月田茂之
	3月31日	研修医	山内直人
	3月31日	研修医	加瀬晃志

7. 公益事業報告

(1) 救急医療活動

○救急医療に対し、郡山地区救急病院協議会、郡山地区第二次病院協議会の運営に協力した。

○救急告示病院として、全日救急患者受入に対応した。さらに、郡山地区第二次病院群輪番制により毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日、また、脳神経外科の第三次病院として毎週金曜日と第2日曜日、第4土曜日を担当し、積極的に地域医療に協力した。担当日における時間の取扱患者数は、次の通りである。

	平成26年度	平成25年度	増減	前年度比
入院（担当日）	802名	856名	△54名	93.7%
入院（年度内総人数）	1,344名	1,395名	△51名	96.3%
外来（担当日）	6,173名	6,342名	△169名	97.3%
外来（年度内総人数）	7,078名	7,301名	△223名	96.9%
救急車搬送件数（担当日）	1,574件	1,605件	△31件	98.1%
救急車搬送件数（年度内総件数）	2,444件	2,425件	19件	100.8%

○郡山市休日・夜間急病センターの二次病院として、毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、病床の確保等を通じ全面的に協力した。

(2) 育英事業

○平成 26 年度の奨学生は、次の通りである。

群馬医療福祉大学看護学科	1 名
国際医療福祉大学保健医療学部看護学科	1 名
千葉科学大学看護学部看護学科	1 名
群馬パース大学保健科学部看護学科	1 名
藤沢市立看護専門学校	1 名
晃陽看護栄養専門学校	1 名
ポラリス保健看護学院	2 名
太田看護専門学校	7 名
仁愛看護福祉専門学校	1 名
公立岩瀬病院附属看護学院	1 名
国立病院機構福島病院附属看護学校	4 名
福島看護専門学校	2 名
郡山看護専門学校	1 名

(3) 公衆衛生協力事業

○郡山市内小中高等学校 7 校及び婦人会保育所の健康診断、妊婦健診、乳幼児並びに 3 才児健診を実施した。

○産業医として市内各事業所の産業安全衛生活動を実施した。

- ・健康診断実施結果による有所見者への保健指導を実施

(6 事業所 従業員総数 1,394 名)

- ・健康相談・健康セミナーを事業所にて開催 (4 事業所 年間 52 回)

○厚生労働省からの要請による院内感染対策サーベイランス事業に協力した。

○エイズ治療拠点病院として、サーベイランス調査、HIV 感染患者の診療に協力した。

○周産期医療協力病院として、福島県周産期医療システムに協力した。

○出産を控えた患者と家族を対象として、毎週土曜日に「パパママクラス」を開催した。

○献血事業協力のため、福島県赤十字血液センターでの採血協力のほか採血

バスへの医師派遣を毎月 1 回ないし 2 回実施した。

○社会福祉法人いずみ福祉会への診療協力を実施した。

○郡山市の委託により地域包括支援センターを運営した。

(郡山南部地域包括支援センター運営実績)

	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比
相談業務	5,046 名	5,018 名	100.6%
介護予防教室 (認知症サポーター養成講座含む)	17 回	11 回	154.5%
基本チェックリスト未回収者の実態把握	213 件	156 件	136.5%

○地域住民を対象とする健康教室等を開催した。

(寿泉堂総合病院)

平成 26 年 5 月 9 日	「看護の日」イベント	170 名参加
5 月 29 日	寿泉堂健康教室 「今だから聞きたいメタボリックシンドロームについて」	18 名参加
6 月 18 日	寿泉堂健康教室 「リウマチについて」	60 名参加
9 月 4 日	救急の日イベント AED 講習会、救急蘇生・応急手当	50 名参加
11 月 6 日	寿泉堂健康教室 「骨折の連鎖をたち切ろう」	70 名参加
11 月 26 日	寿泉堂健康教室 「リウマチについて」	12 名参加
平成 27 年 2 月 24 日	寿泉堂健康教室 「ノロウイルス感染症の予防と対策」	25 名参加

(寿泉堂香久山病院)

平成 26 年 6 月 7 日	昭和地区・昭和町集会所にて「いきいきサロン」 「ロコモティブシンドローム」
6 月 14 日	小原田地区・小原田地域公民館にて「いきいきサロン」 「ロコモティブシンドローム」
6 月 21 日	香久池地区・山崎集会所にて「いきいきサロン」 「ロコモティブシンドローム」
7 月 12 日	三中地区・深沢集会所にて「いきいきサロン」 「ロコモティブシンドローム」
8 月 21 日	家庭医学講座 「遺言と成年後見制度」 講師 公益社団法人成年後見センター リーガルサポート福島支部 司法書士 有我晴輝先生
10 月 4 日	昭和地区・昭和町集会所にて「いきいきサロン」

	「転倒予防」
10月11日	小原田地区・小原田地域公民館にて「いきいきサロン」 「転倒予防」
10月18日	香久池地区・山崎集会所にて「いきいきサロン」 「転倒予防」
平成27年 2月19日	家庭医学講座 「認知症」

(寿泉堂クリニック)

平成26年 11月20日	透析患者勉強会 「最近の透析医療動向と治療薬について」 43名参加
--------------	--------------------------------------

○地域の医師、医療機関を対象とする医学講座並びに症例懇話会を開催した。

(医学講座)

平成26年 7月22日	第35回寿泉堂病院公開医学講座 演題「泌尿器科最先端医療 ロボット支援手術」 講師 福島県立医科大学泌尿器科教授 小島祥敬先生
12月2日	第36回寿泉堂病院公開医学講座 演題「東日本大震災後の福島の精神医療」 講師 福島県立医科大学神経精神医学主任教授 矢部博興先生

(症例懇話会)

平成26年 10月29日	歯科口腔外科	<ul style="list-style-type: none"> ・全身麻酔下手術中に経験したアナフィラキシーショックの1例 ・慢性炎症を契機に発症したと考えられる悪性リンパ種の1例 <p style="text-align: right;">参加人数 59名</p>
11月6日	産婦人科	<ul style="list-style-type: none"> ・当院における子宮内膜アブレーション手術～第2報～ ・婦人科良性疾患に対する腹腔鏡下子宮全摘術 <p style="text-align: right;">参加人数 31名</p>
11月13日	泌尿器科	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間頻尿を考える～超高齢社会での健康寿命の延伸を目指して～ <p style="text-align: right;">参加人数 24名</p>
12月8日	寿泉堂忘年懇話会	参加人数 210名
平成27年 2月26日	リウマチ膠原病科	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかるリウマチ膠原病のみかた <p style="text-align: right;">参加人数 28名</p>

○地域医療支援病院として、地域医療従事者に向けた研修会を開催した。

(寿泉堂総合病院)

平成 26 年 8 月 30 日	救急蘇生講習会 (10 月 30 日、12 月 6 日、平成 27 年 1 月 20 日) 「救急蘇生と AED の使い方」	67 名参加
10 月 9 日	医療安全研修会 「転倒予防」	23 名参加
11 月 26 日	感染対策委員会 「ノロウイルスに関する研修会」	31 名参加
平成 27 年 1 月 28 日	栄養管理科研修会 「高齢者の栄養と食事」	9 名参加
3 月 28 日	助産師クリニカルラダープロジェクトチーム研修会 「救急時の対応と助産記録」	40 名参加

○地域の健康増進、各種行事等へスタッフを派遣し、協力した。

平成 26 年 4 月 29 日	郡山シティーマラソン 救護班	看護師 1 名
5 月 9 日	郡山市立第三中学校 救急蘇生法講習会	看護師 1 名
5 月 22 日	郡山市立緑が丘中学校 救急蘇生法講習会	看護師 1 名
5 月 27 日	郡山市立小原田中学校 救急蘇生法講習会	看護師 1 名
5 月 31 日	まちなか子ども夢駅伝競争大会 救護班	看護師 2 名
6 月 12 日	郡山市立第一中学校 救急蘇生法講習会	看護師 2 名
6 月 23 日	郡山市立安積中学校 救急蘇生法講習会	看護師 2 名
7 月 1 日	郡山市立安積第二中学校 救急蘇生法講習会	看護師 1 名
7 月 22 日	姉妹都市交流事業フレンドシッププロジェクト救護班 (～25 日)	看護師 1 名
8 月 6 日	グループホームすぷりんぐ施設研修 講師 「看取りについて」	看護師 1 名
8 月 8 日	郡山うねめ祭り 救護班 (10 日)	看護師 2 名
8 月 9 日	福島県少年野球大会 救護班 (～10 日)	看護師 3 名

8月26日	郡山市立第六中学校 救急蘇生法講習会	看護師 2名
9月6日	東北新聞社親善野球 第37回野球選手権大会 救護班(10日)	看護師 2名
9月9日	郡山市立日和田中学校 救急蘇生法講習会	看護師 1名
9月30日	郡山市立第二中学校 救急蘇生法講習会(10月9日)	看護師 2名
10月7日	郡山市立大槻中学校 救急蘇生法講習会	看護師 2名
10月22日	郡山市立明健中学校 救急蘇生法講習会	看護師 2名
11月19日	郡山市立第七中学校 救急蘇生法講習会	看護師 1名
平成27年 1月28日	グループホームすぷりんぐ施設研修 講師 「施設内の急変・緊急対応について」	看護師 1名
2月3日	いのちの教育 講師	助産師 1名

○ボランティア育成運営委員会により、ボランティア育成講座及び実習を開催し、ボランティアの積極的な受け入れを行った。

(ボランティア育成運営委員会)

寿泉堂総合病院 11回

寿泉堂香久山病院 12回

(ボランティア育成講座)

寿泉堂総合病院 平成26年 6月26日 8名受講

○地域のコミュニティスペースとして、寿泉堂総合病院の会議室を開放した。

平成26年 4月20日	現職者選択研修会 福島県作業療法士会
6月14日	平成26年度 診療報酬改定説明会 日本医療社会福祉協会
7月10日	郡山まちなかゼミ 郡山市駅前大通商店街振興組合
7月17日	郡山まちなかゼミ 郡山市駅前大通商店街振興組合

8月21日	郡山まちなかゼミ 郡山市駅前大通商店街振興組合
10月25日	学習月例会 高齢社会をよくする女性の会 郡山
11月13日	郡山まちなかゼミ 郡山市駅前大通商店街振興組合
11月23日	まちなかふだん着のコンサート まちなかふだん着のコンサート実行委員会
平成27年 2月 15日	現職者選択研修会 福島県作業療法士会
3月 14日	郡山まちなかゼミ 郡山市駅前大通商店街振興組合

(4) 研究研修事業

臨床研修医、医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

○研究助成・事業援助の状況

1) 関連大学へ研究助成	15件	33,500,000円
2) 関連各種学会へ事業援助	15件	1,410,000円
3) 地域への事業援助	22件	510,500円
4) 社会福祉法人いずみ福社会へ事業援助	1件	12,000,000円

○臨床研修医の受入状況

- 1) 基幹型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）
 - マッチングによる2年間の研修（医科） 1年次2名 2年次4名
 - マッチングによる1年間の研修（歯科） 1名
- 2) 福島県立医科大学附属病院の協力型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）
 - ・研修医 1年次1名
研修期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日
研修科目 大学との協力による1年間の研修
 - ・研修医 2年次1名
研修期間 平成26年6月1日～6月30日
研修科目 眼科
 - ・研修医 2年次1名

研修期間 平成 26 年 11 月 1 日～11 月 30 日

研修科目 眼科

・研修医 2 年次 1 名

研修期間 平成 27 年 2 月 1 日～3 月 31 日

研修科目 眼科

○看護学生等の受入状況

	学校名	人数
看護学生	福島県立医科大学看護学部	83 名
	福島県立総合衛生学院	18 名
	ポラリス保健看護学院	4 名
	郡山看護専門学校	152 名
	福島病院附属看護学校	41 名
	国際メディカルテクノロジー専門学校	18 名
薬学生	奥羽大学	3 名
	いわき明星大学	1 名
リハビリテーション科学生	日本医療科学大学	1 名
	東北福祉大学	1 名
	東北文化学園大学	2 名
	国際医療福祉大学	1 名
	つくば国際大学	2 名
	新潟医療福祉大学	1 名
	帝京平成大学	1 名
	仙台医療技術専門学校	2 名
	仙台医健技術専門学校	1 名
	仙台保健福祉専門学校	2 名
臨床工学士学生	国際メディカルテクノロジー専門学校	2 名
栄養士学生	郡山女子大学	12 名
	郡山女子大学短期大学	7 名
	女子栄養大学	1 名
	北里大学保健衛生専門学院	1 名
音楽療法士学生	郡山女子大学	14 名

家政学科学生	郡山女子大学	3名
歯科衛生士学生	福島医療専門学校	16名
介護支援専門員実務研修	福島県社会福祉協議会	3名
人材育成研修	福島県看護協会	2名

○消防署救急医療実習受入状況

実習内容	人数
郡山地方広域消防組合・救急隊員病院研修	9名

○一般の実習受入状況

実習内容	人数
高校生一日看護体験	28名
福島県立郡山商業高等学校高齢者とのふれあい体験学習	280名
福島県立郡山萌世高等学校ジュニアインターンシップ	1名
帝京安積高等学校ジュニアインターンシップ	3名
福島県立清陵情報高等学校ジュニアインターンシップ	3名
福島県立あさか開成高等学校ジュニアインターンシップ	5名
福島県立湖南高等学校ジュニアインターンシップ	1名
福島県立船引高等学校ジュニアインターンシップ	1名
郡山市立郡山第三中学校職業体験	3名
郡山市立高瀬中学校職業体験	6名
郡山市立第四中学校職業体験	2名

○研究事業

1) 学会発表演題数（診療部） 31題

- ・遠藤平仁 : 第2回日本肺高血圧学会／第3回日本肺循環学会
腎血管病変：腎クリーゼ
- ・遠藤平仁 : 第24回日本リウマチ学会北海道・東北地方会
強皮症消化管障害における治療介入基準の検討
- ・本田悌一朗 : 第154回日本消化器内視鏡学会東北支部例会
回腸末端から発生した Enteric muco-submucosal elongated

polyp の 1 例

- 本田悌一朗 : 第 198 回日本消化器病学会東北支部例会
体外衝撃波破碎療法 (ESWL) と小バスケットによる採石が有効であった慢性膵炎・膵石症の 1 例
- 水上浩行 : 第 62 回日本心臓病学会
当院における虚血性心疾患の若年層および高齢者層の特徴
当院における末梢保護デバイスの有用性
- 水上浩行 : 第 37 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会
当院で経験した特発性冠動脈解離の 1 例
- 佐藤知子 : 第 26 回日本小児感染症学会
溶連菌感染が誘因となり一過性抗カルジオリピン抗体陽性を示した下腿深部静脈血栓症の 1 例
- 酒井信子 : 第 49 回日本小児腎臓病研究会
多剤併用療法終了後に再燃し、扁桃摘出術+ステロイドパルス療法が奏功した重症型 IgA 腎症の 1 例
- 酒井信子 : 第 122 回日本小児科学会福島地方会
福島原発事故後の日光浴不足で発症したビタミン D 欠乏性くる病の 1 例
- 柏原祥曜 : 第 24 回日本産婦人科・新生児血液学会
皮疹、肝脾腫及び早発黄疸を契機に家族性血球貧食症候群と診断した 1 新生児例
- 村上友太 : 第 27 回日本老年脳神経外科学会
アルツハイマー型認知症を合併した高齢者特発性正常圧水頭症 (iNPH) の 1 例
- 菅野裕雅 : 第 63 回東日本整形災害外科学会
単独に発症した腰椎硬膜外膿瘍に対し手術を行った症例の検討
- 佐藤亮平 : 第 25 回東北肩関節研究会
患肢の血流障害を合併した上腕骨近位部前方脱臼骨折 : 1 例報告
- 佐藤亮平 : 第 41 回日本肩関節学会
患肢の血流障害を合併した上腕骨近位部前方脱臼骨折 : 1 例報告

- ・佐藤亮平　：　第 27 回日本肘関節学会
 　　上腕骨肘頭窩に発生した骨軟骨腫に対する鏡視下腫瘍切除術：1
 　　例報告
- ・鈴木和夫　：　平成 26 年度福島県産科婦人科学会秋季学術集会
 　　当院における子宮内膜アブレーション手術（第 2 報）
 　　－子宮筋腫・腺筋症症例における他の観血的治療法との比較－
- ・大和田真人：　第 54 回日本産科婦人科内視鏡学会
 　　マイクロ波子宮内膜アブレーション（MEA）のプロトコールと適
 　　応拡大
- ・田中昌代　：　平成 26 年度福島県産科婦人科学会春季学術集会
 　　Beckwith－Wiedemann 症候群（BWS）と診断された胎児過成長
 　　の 1 例
- ・田中昌代　：　第 137 回東北連合産科婦人科学会
 　　Beckwith－Wiedemann 症候群（BWS）と診断された胎児過成長
 　　の 1 例
- ・百瀬昭志　：　第 18 回日本アクセス研究会学術集会
 　　e-PTFE グラフと合併した血清腫の 1 例
- ・百瀬昭志　：　第 25 回東北アフェレシス研究会
 　　抗糸球体基底膜抗体陽性と血栓性微小血管症を合併した線維性
 　　糸球体腎炎に対して単純血漿交換療法を施行した 1 例
- ・百瀬昭志　：　第 91 回福島腎不全研究会
 　　進行肺腺癌に対しゲムシタビン単独化学療法を施行した保存期
 　　慢性腎臓病患者の 1 例
- ・中島　拓　：　第 102 回日本泌尿器科学会
 　　当院における f-TUL の導入初期治療成績
- ・片田健太郎：　第 4 回福島 NR カンファレンス
 　　脳脊髄液漏出症の 1 例
- ・月田茂之　：　第 167 回東北外科集談会
 　　イレウスで発症した小腸 T 細胞悪性リンパ腫の 1 例
- ・山内直人　：　第 111 回東北整形災害外科学会
 　　観血的治療を要した肩関節後方脱臼骨折：1 例報告

- ・山田優里子： 第 158 回日本循環器学会東北地方会
幼児期に悪性リンパ腫で化学療法を受けた、30 代拡張型心筋症の
1 例
- ・山田優里子： 第 17 回星陵循環器懇話会
幼児期に悪性リンパ腫で化学療法を受けた、30 代拡張型心筋症の
1 例
- ・山田優里子： 第 159 回日本循環器学会東北地方会
周産期心筋症の 1 症例
- ・加瀬晃志： 第 99 回日本呼吸器学会東北地方会
SIADH を合併した多発血管炎性肉芽腫症（GPA）の 1 症例
- ・谷 茉莉奈： 第 204 回日本内科学会東北地方会
周産期心筋梗塞の 1 例

2) 剖検数 4 体

3) 治験薬施用承認件数 3 件

○研修事業

1) 研究研修のための学会等への派遣 (延人数)

	法人	寿泉堂	香久山	クリニック	いずみ訪問	居宅介護
診療部		216 名	1 名	52 名		
看護部	5 名	158 名	85 名	28 名	6 名	1 名
診療支援部		64 名	29 名	26 名		
事務部	7 名	98 名	38 名	6 名		2 名
その他		16 名				
合計		552 名	153 名	112 名	6 名	

2) 教育研修等

(法人全体)

平成 26 年 6 月 21 日	職員接遇研修会「患者接遇の基本」	91 名参加
10 月 28 日	第 22 回寿泉堂病院学会	163 名参加
11 月 21 日	新入職員フォローアップ研修会	49 名参加
平成 27 年 3 月 18 日	平成 27 年度採用前職員オリエンテーション(～20 日)	63 名参加

(寿泉堂総合病院)

平成 26 年 5 月 21 日	平成 26 年度第 1 回クリニカルパス検討会 147 名参加
6 月 18 日	安全な輸血のための勉強会 「安全な輸血を実施するための基礎の習得」98 名参加
6 月 25 日	安全な輸血のための勉強会 「認定輸血看護師の取り組みについて」 85 名参加
10 月 1 日	NST 研修会 「いまどきの経腸栄養の実際について)」 77 名参加
10 月 30 日	平成 26 年度第 2 回クリニカルパス検討会 「周術期の栄養管理について」 105 名参加
12 月 5 日	放射線治療・医療被曝に関する研修会 55 名参加
12 月 26 日	保険診療に関する研修会 「診療録等の記載方法について～記載マニュアルの再確認と当院の入院診療録の現状～」 121 名参加
平成 27 年 2 月 17 日	職員接遇研修会 「コミュニケーションタイプによる関わり方の違いをクレーム対応に活かす」 95 名参加
3 月 24 日	保険診療に関する研修会 153 名参加 「DPC について～医療機能別係数とベンチマーク～」

(寿泉堂香久山病院)

平成 26 年 4 月 8 日	診療報酬について 87 名参加
5 月 23 日	職場紹介① (コメディカルの業務) 24 名参加
6 月 6 日	職場紹介② (病棟業務について) 43 名参加
7 月 8 日	BLS 研修会 187 名参加 (10 日、16 日～18 日、22 日～24 日、10 月 2 日)
7 月 25 日	身体拘束研修会 36 名参加
9 月 11 日	NST 研修会「脱水症について」 62 名参加
10 月 6 日	尿路感染研修会 54 名参加
11 月 11 日	褥瘡研修会 (18 日) 「除圧マットの使用について」 60 名参加
11 月 26 日	地域包括ケアについて 32 名参加
平成 27 年 2 月 18 日	「死」の現場での知識 42 名参加
2 月 28 日	院内研究発表会 30 名参加

(寿泉堂クリニック)

平成 26 年 4 月 22 日	透析センター勉強会 「ヒューマンエラーについて」	27 名参加
6 月 26 日	透析センター勉強会 「オートクレイブについて」	16 名参加
7 月 24 日	透析センター勉強会 「ホスレノールについて」	18 名参加
7 月 29 日	接遇研修会 (ロールプレイング)	38 名参加
8 月 5 日	透析センター勉強会 (26 日) 「AED の使用について」	36 名参加
9 月 25 日	透析センター勉強会 「バスキュラーアクセスについて」	15 名参加
11 月 27 日	透析センター勉強会 「透析室における感染対策」	20 名参加
12 月 2 日	透析センター勉強会 「超音波診断装置の取扱について」	20 名参加
12 月 4 日	透析センター勉強会 「結核の検査方法について」	18 名参加
平成 27 年 1 月 8 日	透析センター勉強会 「シャントエコーの使用について」	18 名参加
1 月 29 日	透析センター勉強会 「エルカルチニン FF 静注について」	18 名参加
1 月 29 日	接遇研修会「強みを活かした接遇とチームコミュニケーション」	34 名参加

3) 海外研修

アメリカ合衆国 (ホノルル地区) 病院視察 平成 26 年 6 月 8 日～6 月 13 日 6 日間 派遣人数: 2 名 新保幸子、鈴木和美
オーストラリア (シドニー、ゴールドコースト) 病院視察 平成 26 年 6 月 15 日～6 月 20 日 6 日間 派遣人数: 3 名 喜古理道、七見幸夫、菅野詳子

8. 設備改修工事等報告

平成 26 年度に実施した工事は、以下の通りである。

(寿泉堂総合病院)

- エコノマイザー本体交換工事

- ひかり回線化工事
- PHS 用アンテナ増設工事
- 温水熱交換機制御弁交換工事

(寿泉堂香久山病院)

- ボイラー本館コントロール装置改修工事

(寿泉堂クリニック)

- 6、7階系ガスヒートポンプエアコン更新工事
- 階段手摺り塗装工事
- 1階事務室パイプカーテン取付工事
- 透析排水用水中ポンプ更新工事

9. 労 使 関 係 報 告

- 平成 26 年 5 月 31 日開催の労使協議会において、平成 26 年度の給与改定及び以下の項目について妥結した。

昇給率 1.92% 昇給額 3,732 円 (標準 5 号の定期昇給)

労働条件

- 平成 26 年 5 月 31 日開催の労使協議会において、平成 26 年度の上期賞与の支給率について妥結した。

(基本給+調整手当 4,000 円) × (基準賞与 1.5ヶ月+業績賞与 0.9ヶ月) + 一律 10,000 円

- 平成 26 年 6 月 1 日から寿泉堂総合病院 8 階病棟において 2 交替制勤務を試験導入し、同年 9 月 1 日から正式スタートした。

- 平成 26 年 7 月 1 日から寿泉堂総合病院 6 階病棟において 2 交替制勤務を試験導入し、同年 10 月 1 日から正式スタートした。

- 平成 26 年 8 月 1 日から寿泉堂総合病院 6 階病棟における 2 交替制勤務を 4 人夜勤体制に増員した。

- 平成 26 年 12 月 1 日開催の労使協議会において、平成 26 年度下期賞与の支給率について妥結した。

(基本給+調整手当 4,000 円) × (基準賞与 2.0ヶ月+業績賞与 0.3ヶ月)

- 平成 27 年 4 月 1 日から実施の賞与一部前払い制による月例給与の引き上げについて、平成 27 年 2 月 18 日付けで労使協定を行った。

○平成 27 年 4 月 1 日からの休日・時間外労働（36 協定）及び 1 年単位の変形労働時間制に関する労使協定を行った。

○労使双方の代表によって構成する「給与委員会」を定例開催した。

10. 庶務事項報告

○平成 27 年 3 月 31 日現在の職員数は次の通りである。

(単位：人)

	医師		看護師		医療技術員		事務職員		その他		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
法人			1				16				17	
寿泉堂	51	84	232	20	97		70	1	54	3	504	108
香久山	7	10	74	1	44	1	14		66	12	205	24
クリニック	4	8	32	2	8	2	12	1	4		60	13
いずみ			6	1							6	1
包括			3				1				4	
居宅			4				2				6	
計	62	102	352	24	149	3	115	2	124	15	802	146

※休職者除く

○当法人及び寿泉堂松南病院を退職した元職員による寿泉堂病院 OB 会「寿友会」の運営に協力した。

○防火避難訓練を次の通り実施した。

寿泉堂総合病院	平成 26 年	5 月 29 日	(総合訓練)
		9 月 2 日	(部分訓練)
		10 月 8 日	(総合訓練)
		12 月 29 日	(部分訓練)
	平成 27 年	1 月 21 日	(部分訓練)
		1 月 27 日	(部分訓練)
寿泉堂香久山病院	平成 26 年	7 月 3 日	(総合訓練)
		9 月 3 日	(部分訓練)
		10 月 30 日	(総合訓練)
		12 月 12 日	(部分訓練)
	平成 27 年	2 月 26 日	(部分訓練)
寿泉堂クリニック	平成 26 年	7 月 10 日	(総合訓練)
		9 月 1 日	(透析センター 災害時情報伝達訓練)

10月28日（総合訓練）

さくら保育園

毎月第3木曜日

- 三部久夫公認会計士による、会計指導を受けた。
- 新日本有限責任監査法人による法定監査を受けた。
- 従業員の健康確保、労働環境確立と労働能力高揚を目指して、衛生委員会（昭和55年1月制定）を12回開催した。
- 院内感染の予防と拡大防止を目的とした院内感染対策委員会（平成4年4月制定）を12回開催した。
- 医療ガス（診療の用に供する酸素、窒素、各種麻酔ガス等）設備の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療ガス安全委員会及び医療ガス設備取扱講習会を次の通り開催した。

（委員会）

寿泉堂総合病院	平成27年3月9日
寿泉堂香久山病院	平成26年12月22日
寿泉堂クリニック	平成26年5月12日

（取扱講習会）

寿泉堂クリニック	平成26年6月3日
	平成27年2月3日

- 透析機器の安全管理を図り患者の安全を確保するため、透析機器安全委員会を次の通り開催した。

（委員会）

寿泉堂クリニック	平成26年4月24日
----------	------------

（医療機器取扱研修会）

寿泉堂クリニック	平成26年9月30日
----------	------------

- 医療安全の確保を目的とした医療安全管理委員会、医療安全対策委員会及び職員研修会を以下の通り開催した。

（医療安全管理委員会、医療安全対策委員会）

寿泉堂総合病院	24回
寿泉堂香久山病院	12回
寿泉堂クリニック	6回

(医療安全管理研修会)

平成 26 年 4 月 4 日	平成 26 年度新採用者医療安全研修会 「医療安全及び感染対策の基本」	52 名参加
4 月 21 日	平成 26 年度医療安全研修会 (中途採用者) 「医療安全及び感染対策の基本」	15 名参加
4 月 24 日	転倒・転落対策セミナー	69 名参加 寿泉堂香久山病院
6 月 16 日	新採用者薬剤に関する研修会 「注射薬に関する基本的事項」	31 名参加
6 月 19 日	リスクマネージャー勉強会 (発生事例の分析) 「RCA 分析」	23 名参加
6 月 20 日	新採用者 KYT 研修会 「KYT とは (危険・予知・訓練)」	51 名参加
7 月 4 日	看護補助者研修会 (7 日) 「もつれない会話 (クレーム対応)」	50 名参加
7 月 24 日	平成 26 年度第 1 回医療安全管理研修会 人工呼吸器研修会 「人工呼吸器の安全管理」	148 名参加
7 月 30 日	平成 26 年度第 2 回医療安全管理研修会 「事例からの振り返り」	246 名参加
8 月 4 日	人工呼吸器研修会 (18 日、9 月 13 日、20 日) 「人工呼吸器の操作及び安全管理」	110 名参加
8 月 29 日	医療安全研修 「医薬品事故事例・個人情報」	32 名参加 寿泉堂香久山病院
9 月 17 日	医療安全研修会 (委託会社対象) 「転倒・転落について」	23 名参加
9 月 26 日	医薬品安全管理研修 「麻薬管理・取扱について」	14 名参加 寿泉堂香久山病院
10 月 7 日	再就業支援研修会 「看護業務全般と医療安全の関わり」	1 名参加
10 月 7 日	リスクマネージャー勉強会 (緊急時事故対応) 「自殺時の対応と予防」	23 名参加
10 月 9 日	転倒予防フェスタ 「ロコモティブシンドローム及び KYT」	23 名参加
10 月 9 日	KYT 研修会 (17 日、24 日、31 日、1 月 22 日、29 日)	198 名参加 寿泉堂香久山病院
11 月 6 日	リスクマネージャー勉強会 (重大事故対応) 「患者急変・医療事故発生時の看護記録の書き方」	25 名参加

11月 7日	研修医自主研修会 「中心静脈カテーテル穿刺・挿入法」 「ヒヤリ・ハット」	4名参加
12月 11日	平成26年度第3回医療安全管理研修会 「肺血栓予防」	217名参加
平成27年 1月 14日	リスクマネージャー勉強会 「肺血栓塞栓症患者予防」	25名参加
2月 5日	平成26年度第4回医療安全管理研修会 「クレーム対応」	216名参加
3月 11日	リスクマネージャー勉強会 「振り返り、医療事故調査制度他」	25名参加
3月 19日	平成27年度新採用者採用前研修会 「医療安全について」	64名参加

(感染対策研修会)

平成26年 5月 15日	院内環境表面の感染対策について (22日、29日) (寿泉堂香久山病院)	191名参加
6月 9日	インフルエンザ関連情報 (20日、28日)	350名参加
7月 4日	手指衛生について (7日)	
7月 11日	MRSAについて (18日、25日)	33名参加
9月 17日	ノロウイルスについて (10月3日、31日)	22名参加
10月 22日	ノロウイルス感染症 (11月5日、12日) 於：スプリングガーデンあさか	
11月 1日	ノロウイルス感染症	364名参加
11月 13日	冬場に流行する感染症予防対策について (19日、27日) (寿泉堂香久山病院)	167名参加
平成27年 1月 16日	手指衛生について (20日、22日、26日～28日)	116名参加
2月 25日	標準予防策 (26日、3月9日、19日)	139名参加
3月 17日	尿道留置カテーテルの管理 (23日、26日)	52名参加

○平成26年度の当法人並びに職員に対する外部団体からの表彰は、次の通りである。

平成26年 5月 17日	平成26年度福島県看護功労者表彰式 優良看護職員賞 先崎千恵子、伊藤一子
10月 8日	平成26年度健康ふくしま21推進県民大会 優良助産師 鈴木和美

	優良看護師	柳沼純子、山崎由紀子
10月16日	平成26年度郡山地区産業安全衛生大会 衛生優良従業員	石井咲子、真屋恵美子 大滝一代
11月12日	平成26年度健康保険委員功労者 全国健康保険協会 福島支部長表彰	鈴木清一
11月12日	福島県診療情報管理研究会 感謝状 多年にわたり幹事として会の発展に貢献	奥山裕子
11月19日	第68回福島県社会福祉大会 会長感謝状	公益財団法人 湯浅報恩会
11月26日	平成26年度郡山地区公衆衛生大会 優良看護師	新保幸子、宗像由美 佐藤洋子、添田しげみ

11. 主要記事

平成26年	4月1日	新入職員入社式並びに辞令交付式
	4月10日	郡山消防署による臨時立入検査 (寿泉堂クリニック)
	4月24日	入院患者慰労及びデイケア利用者のため、春祭りを開催 (寿泉堂香久山病院)
	6月7日	平成27年3月に卒業する看護学生を対象に「病院説明会」を開催
	6月16日	東北厚生局適時調査 (寿泉堂香久山病院)
	6月25日	郡山市保健所による立入検査 (寿泉堂クリニック)
	8月1日	平成27年3月に卒業する看護学生を対象に「病院説明会」を開催
	8月1日	入院患者慰労及び地域住民との交流のため、夏祭りを開催 (寿泉堂香久山病院)
	8月20日	平成26年度永年勤続者表彰式開催 40年勤続表彰 9名 30年勤続表彰 8名 20年勤続表彰 13名 10年勤続表彰 21名
	8月27日	東北厚生局個別指導 (寿泉堂香久山病院)
	9月11日	入院患者慰労及びデイケア利用者のため、敬老会を開催 (寿泉堂香久山病院)
	9月24日	寿泉堂香久山病院 ISO9001、ISO14001 定期審査 (~26日)

	10月 2日	附属さくら保育園遠足（福島空港）
	10月 5日	第5回寿泉堂病院ゴルフ大会開催（寿泉堂総合病院）
	10月 16日	郡山市保健所による平成26年度病院立入検査 （寿泉堂香久山病院）
	11月 12日	郡山市による平成26年度認可外保育所施設立入調査 （附属さくら保育園）
	11月 17日	郡山市保健所による平成26年度病院立入検査 （寿泉堂総合病院）
	12月 10日	イベント委員会が中心となり、入院患者を対象に吹奏 楽演奏会並びにキャンドルサービスを実施 （寿泉堂総合病院）
	12月 11日	入院患者慰労のため、クライアントレク実行委員会に おいてクリスマス会並びにキャンドルサービスを実施 （寿泉堂香久山病院）
	12月 28日	附属さくら保育園クリスマス会開催
平成26年	3月 19日	附属さくら保育園卒園式開催
	3月 23日	平成26年度医師・歯科医師臨床研修修了式開催
	3月 27日	定年退職者特別表彰式開催